

2015 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名[Sherry 英語教室] 担当教諭名[塩飽 隆子] (中学1-3年、高校1-2年 14名)

交流相手国[Pakistan]

海外学校名[Modernage Public School & College] 担当教諭名[Mehreen Ansar]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	英語	想いを英語で伝えよう！	20
	課外活動	想いを絵に表そう！	8

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	Japan-Pakistan Friendship in Peace
絵に込めたメッセージ	・世界中の子どもたちが男子も女子もみんな教育を受けることができますように ・世界には多様な文化・歴史・宗教があることを理解し、そこで生きる人を尊重しよう ・相手をリスペクトし、お互いを大切に思う気持ちでつながろう
	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
・偏った情報や先入観で遠く離れた国で生きている人々を判断するのは間違っていると気づいた。 ・どんなに文化や歴史・政治の背景が違っていても人はお互いを思う気持ちがあれば近い存在になれることを学んだ。 ・人が気持ちを通じ合わせ、一つの目的に向かって協働するためには、言葉の力が大きく、英語の表現力・コミュニケーション力が必要であることを痛感したため、英語の勉強に向かう意欲が高まった。	日本に完成作品が戻ってきた後にスカイプで一緒に鑑賞と全体の振り返りをしたいと考えていたが、3学期のお互いの学校のスケジュールを事前に十分把握していなかったため調整ができず残念だった。鑑賞と振り返りはフォーラムで相手と共有し、可能であれば春休みにもう一度スカイプで話をしようということになった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
ノーベル平和賞受賞のマララの演説から学校教育を受けることができない子どもが多い国だと思っていたのに、相手は素晴らしい教育を受け、人間的にも魅力を感じる生徒達だったので、パキスタンと言っても一様ではなく、自分の目で見て、自分の頭で考えて判断しなくてはならないと気づいた。	パキスタンの教師や生徒と予想を遙かに超えて心を通わせて協働することができたことで、平和は人の心で作れる気がした。また、世界の人々と協働するには英語でしっかり自分の意見を伝えられる力が必要であることを生徒自身が強く感じたようなのでそれをモチベーションに今後の学習に繋げたいと思う。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活 動 内 容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	8月 9月	夏休みに自己紹介文を書いて準備をしておき、9月にフォーラムにアップした。自己紹介はお決まりのパターンにならないよう工夫をさせた。	夏休み中に自己紹介で使う写真を撮ったりして自分らしい自己紹介をしようと内容や表現に工夫をしていた。相手の自己紹介の英語力の高さに驚いていた。	英語
テーマ学習	8月 ～ 10月	テーマは「平和と文化」。夏休みにパキスタンの国調べをし、マララのスピーチを訳して平和について考えた。フォーラムでそれぞれの文化を紹介してからスカイプで直接伝え合った。	相手から教えてもらったパキスタンは戦争とはかけ離れ豊かな文化に満ちていて驚いた。相当な分量だったが初めて知る生の情報は新鮮だったのでみんな意欲的に和訳し、クラス内で共有した。	英語
構図決定	11月	相手は女子校でとても華やかな印象だったので花で囲んだ中に日本とパキスタンの少女を入れ、周りにそれぞれの自然や文化を描くことを提案。お互いの絆や平和を表現するために何を描くかについて話し合っ決めて決めた。	相手とのフレンドシップと平和を表現するためにクラス内で意見を出し合い、相手とも話し合った。そうした話し合いの中で相手と友だち関係ができていった。	英語
壁画制作	12月	下絵はみんなで案を出し、キャンバスへの下書きは代表生徒が書き、色塗りは分担を決めて全員で行った。	一人一人が責任を持って取り組むことができた。一旦完成してからも、相手の絵とともに調和するように描き加えるなど常に相手の気持ちを考えて一緒に創り上げるという意識を持って取り組んだ。	課外活動
鑑賞・振り返り	3月	クラス内で鑑賞・振り返りをし、フォーラムで相手と共有した。	最後にもう一度スカイプで感想を言い合いたかったが日程調整できなかった。	英語

■学習目標(つきたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入（A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった）

「成果」先生の手応え（5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった）

学習目標・つきたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	5	生徒はこれまでもアートマイルに参加しているので地域や日本の文化の紹介は上手に発信していた。
異文化の理解	A	5	パキスタンといえばテロというイメージで文化については全く知らなかったのが相手から教えてもらうことにとっても興味を持っていた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	5	フォーラムの書き込みとテレビ会議を通して英語で説明する力・コミュニケーション力がついた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	4	フォーラムではできるだけ生徒が書き込みをするようにしたことによってネットを使った情報発信力が向上した。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	5	相手との人間関係は密にコミュニケーションがとれたことで予想以上に深まった。今後もフェイスブックなのでやり取りが続きそうである。
協働する力 (役割分担・協力)	B	4	全体を通してグループで分担して全体で共有する場面が多かったがみんなよく協力していた。
学習を追究する意欲	A	5	学習を追求するモチベーションは学習が進む毎に高まっていった。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	5	伝えたいメッセージが明確にあったのでそれをうまく表現しようととても真剣に取り組んでいた。
作品を鑑賞する力	B	5	相手の絵が自分たちの絵に見事に調和していることに感激していた。自分たちが表現したかった友情と平和も伝わってきた。